

2008 年

11 月 30 日（日曜日） - 高い品質にこだわり続ける京丹後人気質 「京丹後市商工会優良従業員表彰式」 -

この厳しい経済状況の中で、本市としていかに活性化や自律的な発展を臨んでいくかというときに、本市の自然環境や歴史文化、各種産業の集積といった有形また有形的な資産以外に、無形資産、知的な資産、目には見えないけど重要な資産は何なのかを一度整理して一つのきっかけにしていきたいということで、昨年、京都工芸繊維大学の中森先生のご指導をいただいて「京丹後市知的資産報告書」というものを自治体としては先駆的な形で取りまとめていただきました。

その中で、本市の第一の知的資産として位置付けられたのは、「よりよいものを求める、高い品質にこだわり続ける京丹後人気質」です。歴史的には、明治期、“東の渋沢、西の松本”と称された松本重太郎翁。今のみずほ銀行、アサヒビール、南海電鉄、東洋紡はじめ名だたる延べ 40 の会社を立ち上げ、そんな明治期の関西経済の立役者が出生・若年期育ったのが、京丹後の間人。翁は、日本経済全体の品質向上を求め、高めた。また、データ野球の大御所、野村克也さんも網野に生まれ育ち、野球の質を求めた。峰山で創業されたマルハンの韓会長は、エンターテイメントの質を求め業界日本一となられ、同じく峰山で創業され京都一、二を競う料亭となった和久伝さんはおもてなしの質を求めた。

丹後ちりめんも未曾有の厳しさの中でも、質を維持し更なる工夫向上を求め、今でも日本一の生産量を誇っている。機械金属業界も大変高品質なものづくり、綿密な品質検査で有名である。お米のおいしさも特 A の超高品質だし、全国ブランドの間人ガニも第一級でいうまでもありません。そして、このような京丹後の産業の素晴らしさは、高い品質にこだわり求める丹後人とその気質により支えられ、導かれている。本日受賞された皆さんにそんな京丹後人気質をかいま見ることができるようで、敬意を感じます。そんなよりよいものを求める、高い品質にこだわり求める京丹後人気質こそが第一の資産ではないかと尊く理解しています。

そして、先述した京丹後の先輩達の例をみても、そんな高品質を求める京丹後人気質は、あたかも蓮の花のように厳しい状況を経て実りある花を咲かせておられるようだ。としたら、大変厳しい経済産業状況の今こそ、京丹後人の底力の本領が今後ますます発揮されていくための大切な糧となる。